

2011年度

科目名	文化財特殊講義Ⅱ(歴史・民俗)B				
担当教員	塚口 義信				
配当	文財3			コード	12067
開期	後期	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	ヤマト政権と大王(5-6世紀)				
目的と概要	文化財の研究と、それを生み出す母体となった時代の研究とは、たがいに不可分の関係にある。文化財からその時代の様子を知ることができるし、逆にそれを生み出した時代の有様から、文化財の性格やそれが担っていた意味を理解することができる。この授業では、後者の視点から、主に文献史料に拠りながら、古代の文化財が生み出された時代背景について考えてみたいと思う。この授業が皆さんのご研究の一助となれば幸いである。なお、皆さんのご都合がよければ、史跡見学(学外授業)も行いたいと考えている。				
成績評価法	学期末の試験(論述式)70%、講義時の提出物・平常点30%で評価する。				
テキスト	特に指定しない。				
参考書	『倭の五王』坂元義種 教育社 『倭王権の時代』吉田晶 新日本出版社 『新視点 日本の歴史』(第2巻古代編I) 白石太一郎・吉村武彦編 新人物往来社 『史跡で読む日本の歴史 2 古墳の時代』岸本直文編 吉川弘文館 『継体大王とその時代』(財)枚方市文化財調査研究会編 和泉書院 『『日本書紀』とその世界』荊木美行 燃焼社 『謎の大王 継体天皇』水谷千秋 文藝春秋 『三輪山と日本古代史』塚口義信他 学生社 その他、授業中に適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	論述式の試験(自筆のノートのみ参照可)を行うので、しっかりノートを取り、毎回整理しておくこと。 授業前に、前回の内容を確認しておくこと。				
講義計画					
第1回	はじめに一授業の目的と内容				
第2回	5世紀のヤマト政権と大王 (1) —古市古墳群と百舌鳥古墳群—				
第3回	5世紀のヤマト政権と大王 (2) —『古事記』『日本書紀』の陵墓伝承—				
第4回	5世紀のヤマト政権と大王 (3) —2つの大王家論は成立するか—				
第5回	5世紀のヤマト政権と大王 (4) —仁徳天皇は聖帝か—				
第6回	5世紀のヤマト政権と大王 (5) —仁徳・履中系王統と允恭系王統の確執①—				
第7回	5世紀のヤマト政権と大王 (6) —仁徳・履中系王統と允恭系王統の確執②—				
第8回	5世紀のヤマト政権と大王 (7) —むすび—				
第9回	6世紀前半のヤマト政権と大王 (1) —継体天皇の登場—				
第10回	6世紀前半のヤマト政権と大王 (2) —王朝交替論は成り立つか—				
第11回	6世紀前半のヤマト政権と大王 (3) —継体天皇の出自を探る①—				
第12回	6世紀前半のヤマト政権と大王 (4) —継体天皇の出自を探る②—				
第13回	6世紀前半のヤマト政権と大王 (5) —継体天皇と近江・越前—				
第14回	6世紀前半のヤマト政権と大王 (6) —継体朝の歴史的意義—				
第15回	まとめ				